

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.22 2007年6月号

すこし前から「スピリチュアル」がブームだそうです。英語の辞書をひくと、「精神的な」とか「霊的な」という意味が書いてありますが、守護霊や前世、魂といったものを指すことが多いようです。この分野で特に有名なのはテレビや雑誌によく出ている江原啓之さんという方ですが、みなさんはご存知ですか？ ゲストの方の「オーラ」を「霊視」して、その方の前世や守護霊を伝えるという江原さんのテレビ番組がありますが、高い視聴率をとる人気番組だそうですね（私は見たことがありませんが）。

香山リカさんの「スピリチュアルにハマる人、ハマらない人」という本によれば、最近では学者や経営者、技術者の中にもスピリチュアルな発言をする方が増えているそうです。そのため、「大学の先生が言っている」ということを理由に、スピリチュアルに対する信頼を深めている人がいるのも事実ではないかと言っています。

（なお、この本では京セラの稲盛和夫氏もスピリチュアルな思想をする人の例として挙げられています。でも、稲盛氏は“得度”されている方ですから、氏の発言や思想は流行のスピリチュアルというより、仏教の思想だと私は思っています。香山さんによれば、既存の宗教とスピリチュアルは、「人々の幸せ」か「自分の幸せ」かという点において決定的に違うそうです。もちろん、「人々の幸せ」を願うほうが宗教です）。

私自身は、目に見えるものや科学で証明されたものしか信じるべきではないというふうには思っていませんし、前世というものも、あるかどうかかわからないと思っています。ただ、ほんの50年前にさかのぼるだけで世界の人口は現在の半分以下、4～5百年前なら現在の10分の1以下の人口しかいなかったそうなので、今生きている人たちの前世が人間である確率は相当低いのもかもしれません（私に前世があるとすれば、虫か植物あたりかも）。

ここまで読まれてお気づきかもしれませんが、私はどちらかというとスピリチュアルに「ハマらない人」です。みなさんは「ハマる人」ですか？ それとも「ハマらない人」？

